

(評議員の資格等)

第16条 評議員は、社会福祉事業に関心を持ち、又は学識経験ある者で、この法人の趣旨に賛成して協力する者の中から理事会の同意を経て、理事長がこれを委嘱する。

2 評議員の委嘱に当たっては、各評議員について、その親族その他特殊の関係がある者が3名を超えて含まれてはならない。

(評議員の任期)

第17条 評議員の任期は2年とする。ただし、補欠の評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 評議員は、再任されることができる。

第4章 資産及び会計

(資産の区分)

第18条 この法人の資産は、これを分けて基本財産と運用財産の2種とする。

2 基本財産は、別紙に掲げる財産をもって構成する。

3 運用財産は、基本財産以外の財産とする。

4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

(基本財産の処分)

第19条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意を得て、舞鶴市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には舞鶴市長の承認は必要としない。

(1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

(2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資(独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。)に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資に係る担保に限る。)

(資産の管理)

第20条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(特別会計)

第21条 この法人は、特別会計を設けることができる。

(予算)

第22条 この法人の予算は、毎会計年度開始前に、理事長において編成し、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

(決算)

第23条 この法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支決算書は、毎会計年度終了後2月以内に理事長において作成し、監事の監査を経てから、理事会の認定を得なければ

ならない。

2 前項の認定を受けた書類及びこれに関する監事の意見を記載した書面については、各事務所に備えて置くとともに、この法人が提供する福祉サービスの利用を希望する者その他の利害関係人から請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、これを閲覧に供しなければならない。

3 会計の決算上繰越金を生じたときは、次会計年度に繰り越すものとする。ただし、必要な場合には、その全部又は一部を基本財産に編入することができる。

(会計年度)

第24条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第25条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第26条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意がなければならない。

第5章 解散及び合併

(解散)

第27条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第28条 解散(合併又は破産による解散を除く。)した場合における残余財産は、理事総数の3分の2以上の同意によって社会福祉法人のうちから選出されたものに帰属する。

(合併)

第29条 合併しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意を得て、舞鶴市長の認可を受けなければならない。

第6章 定款の変更

(定款の変更)

第30条 この定款を変更しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意を得て、舞鶴市長の認可(社会福祉法第43条第1項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。)を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を舞鶴市長に届け出なければならない。

第7章 公告の方法その他

(公告の方法)

第31条 この法人の公告は、社会福祉法人みずなぎ学園の掲示場に掲示するとともに新聞に掲載して行う。

(施行細則)

第32条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の設立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	隅 山 陣
理事	田 端 由太郎
理事	安屋敷 正 雄
理事	谷 口 雅
理事	大 槻 修
理事	西 村 和 子
理事	垣 田 章 枝
理事	仲 村 芳 直
監事	村 川 巳之助
監事	上 林 政 明

2 平成10年4月22日認可のあった定款の一部改正に伴い選任された役員の任期は、第6条の規定にかかわらず、平成12年2月8日までとする

2 この法人の設置経営する施設の長(以下「施設長」という。)は、理事会の議決を経て、理事長が任免する。

3 施設長以外の職員は、理事長が任免する。

第3章 評議員及び評議員会

(評議員会)

第13条 評議員は、17名の評議員をもって組織する。

2 評議員会は、理事長が招集する。

3 理事長は、評議員総数の三分の一以上の評議員又は監事から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内に、これを招集しなければならない。

4 評議員会に議長を置く。

5 議長は、その都度評議員の互選で定める。

6 評議員会は、評議員総数の過半数の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。

7 評議員会の議事は、評議員総数の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

8 評議員会の決議について、特別の利害関係を有する評議員は、その議事の議決に加わることができない。

9 議長及び評議員会において選任した評議員2名は、評議員会の議事について議事の経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成し、これに署名又は記名押印しなければならない。

10 評議員の報酬については、勤務実態に即して支給することとし、評議員の地位にあることのみによっては、支給しない。

(評議員会の権限)

第14条 評議員会は、次に掲げる事項を審議する。

(1) 予算、決算、基本財産の処分、事業計画及び事業報告

(2) 予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄

(3) 定款の変更

(4) 合併

(5) 解散(合併又は破産による解散を除く。以下この条において同じ。)

(6) 解散した場合における残余財産の帰属者の選定

(7) その他、この法人の業務に関する重要事項で、理事会において必要と認める事項

2 理事会は、前項に掲げる事項を決定しようとするときは、原則としてあらかじめ評議員会の意見を聴かなければならない。

(同 前)

第15条 評議員会は、この法人の業務若しくは財産の状況又は役員の業務執行の状況について、役員に対して意見を述べ若しくはその諮問に答え又は役員から報告を徴することができる。

(役員を選任等)

- 第7条 理事は、理事総数の3分の2以上の同意を得て、理事長が委嘱する。
- 2 監事は、理事会において選任する。
 - 3 監事は、この法人の理事、評議員、職員及びこれらに類する他の職務を兼任することができない。

(役員報酬等)

- 第8条 役員報酬については、勤務実態に即して支給することとし、役員の地位にあることのみによっては、支給しない。
- 2 役員には費用を弁償することができる。
 - 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

(理事会)

- 第9条 この法人の業務の決定は、理事をもって組織する理事会によって行う。ただし、日常の軽易な業務は理事長が専決し、これを理事会に報告する。
- 2 理事会は、理事長がこれを招集する。
 - 3 理事長は、理事総数の3分の1以上の理事又は監事から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から1週間以内にこれを招集しなければならない。
 - 4 理事会に議長を置き、議長はその都度選任する。
 - 5 理事会は、理事総数の3分の2以上の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。
 - 6 理事会の議事は、法令に特別の定めがある場合及びこの定款に別段の定めがある場合を除き、理事総数の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - 7 理事会の決議について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。
 - 8 議長及び理事会において選任した理事2名は、理事会の議事について議事の経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成し、これに署名又は記名押印しなければならない。

(理事長の職務の代理)

- 第10条 理事長に事故あるとき、又は欠けたときは、理事長があらかじめ指名する他の理事が、順次に理事長の職務を代理する。
- 2 理事長個人と利益相反する行為となる事項及び双方代理となる事項については、理事会において選任する他の理事が理事長の職務を代理する。

(監事による監査)

- 第11条 監事は、理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況を監査しなければならない。
- 2 監事は、毎年定期的に監査報告書を作成し、理事会、評議員会及び舞鶴市長に報告するものとする。
 - 3 監事は、前項に定めるほか、必要があると認めるときは、理事会及び評議員会に出席して意見を述べるものとする。

(職員)

- 第12条 この法人に、職員若干名を置く。

この改正は、	昭和58年	4月	1日	より施行する。
一部改正	昭和60年	1月	22日	
一部改正	昭和61年	8月	12日	
一部改正	昭和61年	9月	9日	
一部改正	昭和63年	1月	12日	
一部改正	平成2年	9月	20日	
一部改正	平成3年	12月	25日	
一部改正	平成5年	6月	29日	
一部改正	平成6年	12月	19日	
一部改正	平成8年	7月	30日	
一部改正	平成9年	1月	27日	
一部改正	平成10年	4月	22日	
一部改正	平成10年	9月	10日	
一部改正	平成11年	1月	8日	
一部改正	平成11年	5月	18日	
一部改正	平成12年	7月	17日	
一部改正	平成12年	11月	27日	
一部改正	平成13年	7月	3日	
一部改正	平成14年	3月	20日	
一部改正	平成15年	7月	18日	
一部改正	平成17年	3月	19日	
一部改正	平成19年	10月	4日	
一部改正	平成23年	8月	17日	
一部改正	平成25年	3月	8日	
一部改正	平成25年	5月	22日	
一部改正	平成25年	11月	14日	
一部改正	平成26年	12月	24日	
一部改正	平成27年	8月	4日	
一部改正	平成28年	2月	19日	

基本財産

1.土地

	所在地	地目	地積 (㎡)
1	舞鶴市大字鹿原小字鎌谷口 248 番地 3	宅地	168.59
2	〃 小字鎌谷口 251 番地 1	宅地	1,196.69
3	〃 小字樋ノ口 253 番地	宅地	380.16
4	〃 小字樋ノ口 256 番地	宅地	545.43
5	〃 小字ハビロ 209 番地 7	宅地	40.47
6	舞鶴市字丸田小字桜木 380 番 1	雑種地	344.00
7	舞鶴市字丸田小字桜木 379 番 1	宅地	310.50
8	舞鶴市字丸田小字天神 378 番 1	宅地	213.83
9	舞鶴市字丸田小字天神 377 番	宅地	234.71
10	舞鶴市字丸田小字天神 375 番 1	宅地	580.19
11	舞鶴市字丸田小字天神 375 番 2	宅地	29.75
12	舞鶴市字丸田小字天神 375 番 3	宅地	49.00
13	舞鶴市字丸田小字天神 375 番 5	宅地	211.35
14	舞鶴市字丸田小字天神 336 番 1	宅地	229.00
15	舞鶴市字丸田小字天神 336 番 2	宅地	92.79
16	舞鶴市字丸田小字天神 337 番 1	宅地	688.64
17	舞鶴市字丸田小字天神 339 番	宅地	842.19
18	舞鶴市字丸田小字天神 340 番	宅地	2,248.63
19	舞鶴市字丸田小字天神 340 番 1	宅地	2,361.72
20	舞鶴市字丸田小字天神 346 番 1	宅地	463.86
21	舞鶴市字丸田小字天神 346 番 3	宅地	11.07
	合計		11,242.57

2.建物

家屋番号 号	所在地	種類	構造	面積 (㎡)
1	舞鶴市大字鹿原小字樋ノ口 256 番地 〃 小字鎌谷口 251 番地 1 〃 〃 地先国有地	作業所	鉄骨造 スレート葺 平家建	377.73
2	舞鶴市大字鹿原小字鎌谷口 251 番地 1	訓練所	木造 セメント瓦葺 平家建	177.55
3	舞鶴市大字鹿原小字鎌谷口 251 番地 1	作業場	鉄骨造 鉄板葺 平家建	174.00

第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人(以下「法人」という。)は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

- (1) 第一種社会福祉事業
障害者支援施設の経営
- (2) 第二種社会福祉事業
ア 障害福祉サービス事業の経営
イ 一般相談支援事業の経営
ウ 特定相談支援事業の経営
エ 移動支援事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人みずなぎ学園という。

(経営の原則)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を京都府舞鶴市字鹿原209番地の3に置く

第2章 役員及び職員

(役員の数)

第5条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 7名
 - (2) 監事 2名
- 2 理事のうち1名は、理事の互選により、理事長となる。
 - 3 理事長は、この法人を代表する。
 - 4 役員を選任に当たっては、各役員について、その親族その他特殊の関係がある者が、理事のうち1名を超えて含まれてはならず、監事のうちにこれらの者が含まれてはならない。

(役員任期)

第6条 役員任期は2年とする。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 役員は再任されることができる。
- 3 理事長の任期は、理事として在任する期間とする。

社会福祉法人 みずなぎ学園 定款

第1章 総 則

第2章 役員及び職員

第3章 評議員及び評議員会

第4章 資産及び会計

第5章 解散及び合併

第6章 定款の変更

第7章 公告の方法とその他

		〃 小字鎌谷口 248 番地 3			
		〃 〃 先国有地			
4	2	〃	倉庫	鉄骨造 亜鉛メッキ 鉄板葺 平家建	32.20
5	209-3	舞鶴市大字鹿原小字ハレノ口 209 番地 3 〃 小字ハレノ口 214 番地 〃 小字ハレノ口 215 番地 〃 小字樋ノ口 253 番地 〃 小字樋ノ口 254 番地 〃 小字樋ノ口 255 番地 〃 小字樋ノ口 256 番地 国有水路	養護所	鉄筋コンクリート造 陸屋根 平家建	1,472.30
6	1	〃	物干場	鉄骨造 陸屋根 平家建	25.92
7	2	〃	貯蔵所	鉄筋コンクリート造 鉄板葺 平家建	6.00
8	256-2	舞鶴市大字鹿原小字鎌谷口 251 番地 1 〃 小字樋ノ口 256 番地	車庫	鉄骨造 亜鉛メッキ鉄板葺 平家建	129.52
9	218-2	舞鶴市大字鹿原小字ハレノ口 218 番地	車庫	鉄骨造 亜鉛メッキ鉄板葺 平家建	47.90
10	200-2	舞鶴市字野村寺小字善寿寺 200 番地 2	作業所	鉄骨造 スレート葺 平家建	480.00
11	1	〃	車庫	鉄骨造 亜鉛メッキ鉄板葺 平家建	18.00
12	2	〃	物置	コンクリートブロック造 ス レート葺 平家建	4.11
13	3	〃	作業所	鉄骨造 スレート葺 平家建	175.00
14	1	舞鶴市大字鹿原小字鎌谷口 251 番地 1 〃 小字鎌谷口 248 番地 3 〃 先国有地	便所	コンクリートブロック造 ビ ニール板葺 平家建	6.72
15	1-1-2	舞鶴市大字安岡小字村之内 1 番地 1	寄宿舎	木造 セメント瓦葺 二階建	155.22
16	772-1	舞鶴市大字鹿原小字杉ノ木 772 番地 1 〃 773 番地 〃 772 番地 1 先	授産施設	軽量鉄骨造 亜鉛メッキ鉄板 葺 平家建	366.13
17	1-1-3	舞鶴市大字安岡小字村之向 1 番地 1、1 番地 2	グループ ホーム	木造 スレート葺 二階建	170.74

18	375-1	舞鶴市字丸田小字天神 375 番地 1、375 番地 2、 375 番地 3、376 番地 1、377 番地	授産施設	鉄骨造 陸屋根合金鋼板葺 平家建	475.35
19	340	舞鶴市字丸田小字天神 340 番地、336 番地 1、 337 番地、339 番地、346 番地	障害者入 所更生施 設	鉄筋コンクリート造合金メッ キ鋼板ぶき 2 階建	1 階 2043.12 m ² 2 階 1101.03 m ²
20	375-1 1	舞鶴市字丸田小字天神 375 番地 1、375 番地 2、 375 番地 3、376 番地 1、377 番地	休憩所	木造ルーフィングぶき平屋建	12.96
21	375-1 2	〃	便所	鉄骨造ルーフィングぶき平屋 建	10.25
22	340 1	舞鶴市字丸田小字天神 340 番地、336 番地 1、 337 番地、339 番地、346 番地	倉庫	鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平 屋建	92.40
23	218 番 0 の 3	舞鶴市大字鹿原小字ハビ ^ロ 218 番地 218 番地先 〃 小字鎌谷口 248 番地 3 〃 小字樋ノ口 253 番地	作業所	鉄骨造 陸屋根 平家建	135.32
24	260 番 1	舞鶴市字鹿原小字鎌谷口 260 番地 1	倉庫	軽量鉄骨造合金メッキ鋼板ぶ き平家建	33.12
25	200 番 2 の 2	舞鶴市字野村寺小字善寿寺 200 番地 2	車庫	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶ き平家建	45.66

定 款

京都府舞鶴市字鹿原 209 番地の 3
社会福祉法人みずなぎ学園